

【青森県】

市町村名	Q9	Q10	Q11
弘前市	「市民便利帳くらし弘前」に多重債務の相談窓口を掲載。 「くらしに役立つ金融情報」に債務整理の方法と共に相談窓口を掲載。		
八戸市		庁内の窓口業務担当者に対し、多重債務者の掘起しと相談窓口への誘導について、説明会を開催している。	
十和田市		現在、生活環境課では収納課と連携し多重債務者からの相談に応じているが、今後、市営住宅担当課や他部署にも連携を広げ、多重債務者の相談に取組んでいきたい。	
むつ市	市民ルームや相談窓口へパンフレットを据え置く。		相談業務を行う職員が他の業務との兼任であるため、相談業務についての研修に積極的に参加したりといった専門的な勉強をすることが困難である。
藤崎町			専門的な知識を持つ職員がいないので、相談窓口を設けるには県からの後押しが必要と思われる。
板柳町			相談を受けるものが役場職員であり、相談を受けるための知識を学ぶための研修の充実を図ってほしい。 また、関係機関との連携の強化も必要だと思われる。
中泊町		多重債務問題に限定した相談会は実施していないが、それを含めた相談会は実施している。	町の段階で多重債務者の窓口を設置してもほとんど顔見知りの人ばかりいる所へは相談に来ないと思います。
六戸町		青森県司法書士会十和田支部より2ヶ月に1回司法書士を派遣して頂き、町民を対象に無料相談会を開催している。	
横浜町			現状として、専門知識を有するスタッフがいらない(又はいても異動等で変わると対応できなくなる)ため、細かい対応ができない
六ヶ所村			相談に来た多重債務者を迅速に専門家等へ紹介できるよう、行政機関内外の連携を作りたい。
おいらせ町			多重債務問題は、専門的な知識が必要なため専門機関を紹介しています。
風間浦村			小規模自治体では、相談者が訪れにくいと思う。県内と市部での相談会の開催や相談場所の広報誌を作成してほしい。また、TVCMでは、消費者金融の宣伝を有名タレントが行うなど身近に感じさせる手法をとっており、このままでは銀行との違いも解りづらく多重債務問題の解決は程遠いと思う。

【青森県】

市町村名	Q9	Q10	Q11
三戸町			多くの業務を兼務している町村職員では相談に乗りたくても専門知識が不十分で相談に乗ることができず、やむなく専門の窓口を紹介するほかない現状です。
五戸町			多重債務者のほとんどが、税・公共料金等の滞納者であり、早い時期に関係課との協議の場をもうけなければと思っている。